

ちっちゃいものくらぶ

やもり(さん)

たもりさんじゃないよ！よく家の窓とかに夜、ぺたっとはりついている子だね。にほんやもりさんは自然豊かなとこじゃなくて、民家に住んでる子がほとんどらしい。

「爬虫類はだめ～」っていう人はわりと多いのかな？確かにふさふさのお毛けは生えてないしね…。

でもよく見るとかわいい子なんだよ。それに「やもり」は「家守り」だからお家を守ってくれる仲間だと私は思うよ。因みに漢字では「守宮」と書くそうだ。

やもりさんはまぶたが無いので目に入ったゴミはなめて落とすらしい。またドライアイを防ぐためにもなめるらしい。

ボルネオ島に行ったとき、ホテルの壁に、昼間からはりついてるわ、わさわさとやもりさんが。ゆっくり静かに近寄ると、逃げないでいてくれる子もいた。



爬虫類は昔は私、あまり得意ではなかった。だけどイグアナちゃんとの出会いが、爬虫類のかわいさを知るきっかけになったんだ。あったかいのが好きで、夏になると動きがよくなる。普段はずっと木とかケージの柵につかまってじっとしてる。でもケージから出すと、できるだけ高い所を探して落ち着く。

イグアナちゃんをリビングに出したまま出かけて帰ってきた時のこと…。なんと彼は背もたれの高いソファのてっぺんで寛いでいた。

私と目が合うと、いたずらが見つかった時の子のように、「ヤバっ」って感じで頭を低くして少し隠れるような仕草をした。う～、かわいすぎる！

キッチンで野菜を切っていると、「ぼくのごはん？」って私の身体を上ってきて、（爪がかなり痛い）が肩ごしにまな板を見るんだよ。緑黄色野菜やフルーツ、お花が好物。

寝る時は両手両足を後ろに伸ばすんだ。これがまたぐっとくるかわいさ。目を見ると、安心してるとか、緊張してるかなんともなくわかる。

脱皮はヘビさんみたく形のまま脱げるんじゃなくて、日焼けした皮膚が剥けるみたいに、ちょっとずつはがれてだんだん大きくなっていくんだよ。

イグアナちゃん好きになっちゃう本のご紹介

「**イグアナくんのおじゃまな毎日**」 佐藤多佳子著 イラスト はらだたけひで 偕成社

児童書だからといって侮るべからず！